

シンポジウム交通政策基本法を考える

2014年2月28日 午後1:30～5:30

衆議院第2議員会館 第1会議室 予約不要 無料

交通権学会は、交通を権利として探究する学際的・実践的な学会であり、1986年に誕生しました。交通権の活動は、障害者の交通保障と、私的モータリゼーションに起因する諸問題を起点として、多岐にわたる問題を取り上げるとともに「交通基本法」の制定を重要な目標として掲げてきました。その後、いくつかの変遷を経て2013年11月に「交通政策基本法」が成立しました。こうした状況から、交通権に関する現実をもとに今後の交通政策はどのようにあるべきかを考えます。



議員会館は手荷物検査を済ませて左側ロビーで入館証を案内員から受け取って下さい。時間に余裕をみてお越し下さい。

テーマ(仮題)	報告者	
挨拶 法案について	辻元清美氏	衆議院議員
基調報告	桜井徹氏	日本大学商学部教授 交通権学会会長
交通政策基本法の意義と限界	安部誠治氏	関西大学社会安全学部教授
フランス国内交通法と交通権	望月真一氏	アトリエUDI代表 カーブ リーダージャパン代表理事
福祉交通の現状と問題	秋山哲男氏	福祉のまちづくり学会会長
地域交通と交通権	市川嘉一氏	日本経済新聞記者
徒歩・自転車と交通政策	杉田正明氏	クルマ社会を問い直す会代
交通インフラと市民の権利	橋本良仁氏	公共事業改革市民会議代表
JR三島会社の経営改善と夜行列 車活性化に向けた一試案	大塚良治氏	湘北短期大学准教授
北陸新幹線開業に伴う並行在来 線と垂直在来線の諸問題	松原光也氏	京都大学大学院低炭素都市 圏政策ユニット
東北復興と交通	小祝慶紀氏	東北工業大学工学部准教授
討論, フロア発言	司会 上岡直見	

国会状況により時間及び内容は変更の可能性があります。

問合せ: 環境経済研究所上岡直見 03-3234-4770 sustran-